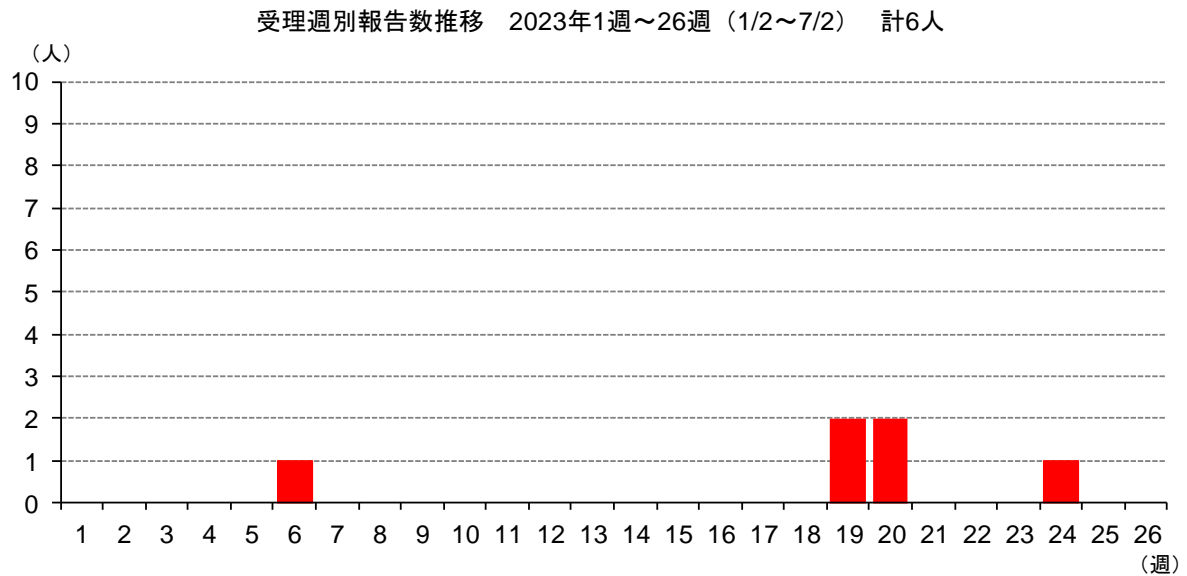


都内における麻しんの発生状況（2023年第1週から26週）

東京都健康安全研究センター

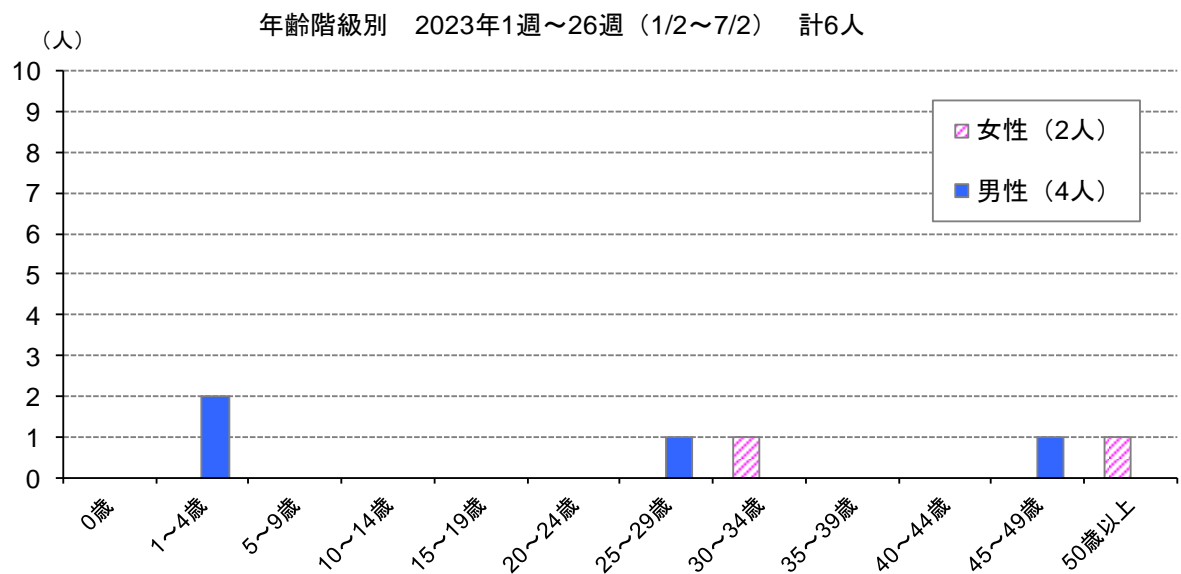
1. 患者報告数の推移

2023年26週（7/2）までの累計報告数は6人であった。



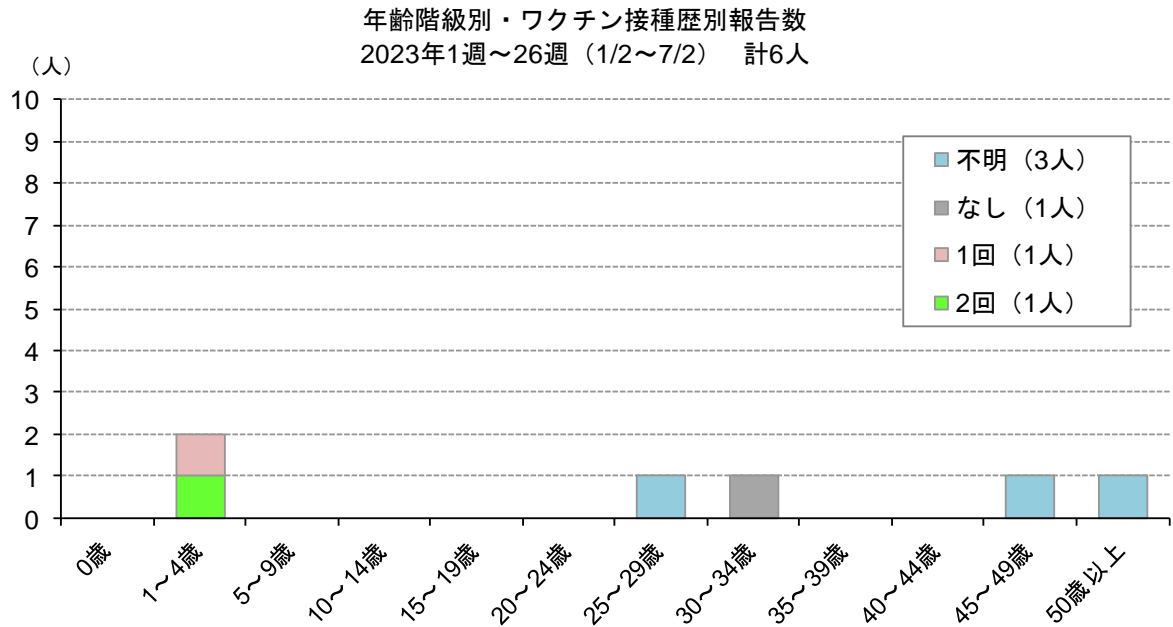
2. 年齢階級別・性別報告数

年齢階級別では1～4歳が2人、25～29歳が1人、30～34歳が1人、45～49歳が1人、50歳以上が1人であった。性別では男性4人、女性2人であった。



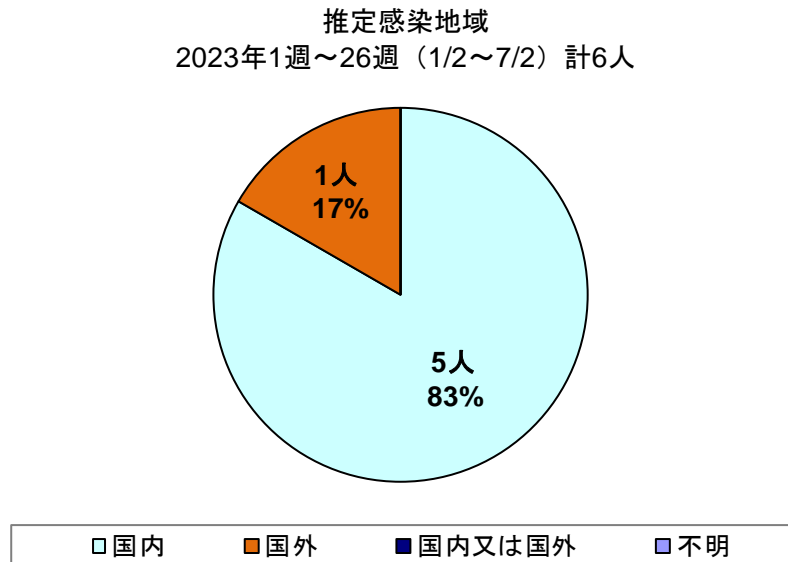
3. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別で見ると、2回接種が1人、1回接種が1人、接種なしが1人、不明が3人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約67%であった。ただし、接種歴には暴露後の緊急対応としての接種歴も含まれる。



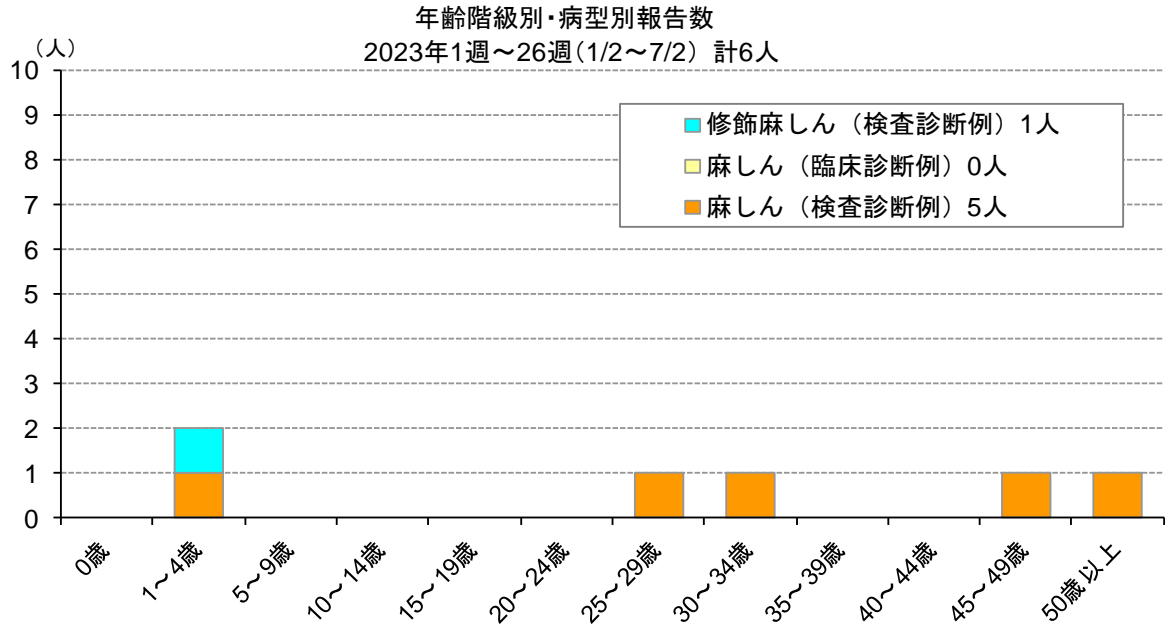
4. 推定感染地域

推定感染地域は「国内」が5人、「国外」が1人であった。



5. 年齢階級別・病型別報告数

病型別でみると、麻しん（検査診断例）が5人、修飾麻しん（検査診断例）が1人であった。麻しん（臨床診断例）の報告はなかった。



6. 事例一覧

No	診断週	性別	年齢群	遺伝子型	推定感染地域	予防接種歴
1	6週	女	50歳以上	不明	国内	不明
2	19週	男	45～49歳	D8	国内	不明
3	19週	女	30～34歳	D8	国内	なし
4	20週	男	1～4歳	D8	国内	1回
5	20週	男	1～4歳	D8	国内	2回
6	24週	男	25～29歳	D8	国外(インドネシア)	不明

7. 集団発生報告数

2023年26週までの集団発生報告はなかった。

<参考>

麻しん患者報告数の推移（2019年～2023年26週）

2021年、2022年の報告はなかった。過去5年間でみると、2023年は2番目に多い報告数となった。

